

公益社団法人日本セラミックス協会

2017年 年会 申込要領

会期: 2017年3月17日(金)～19日(日)

会場: 日本大学(駿河台キャンパス) 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

URL: <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/>

問い合わせ先: nenkai2017@cersj.org

1	ご案内		4	予稿原稿作成要領	
1.1	お知らせ(予稿集発行日・託児所)	02	4.1	予稿原稿の投稿方法	08
1.2	年会開催日程・プログラム(予定)	02	4.2	電子ファイルの作成方法	09
1.3	重要な日時	02	4.3	予稿原稿作成見本	10
2	参加登録		5	発表要領	
2.1	参加手順	03	5.1	口頭発表要領	11
2.2	参加登録費	03	5.2	ポスター発表要領	12
2.3	参加登録 注意事項	04	5.3	年会優秀ポスター発表賞	12
2.4	事前参加登録のキャンセル・返金	04	6	企画・イベント	
2.5	予稿 PDF インターネット公開	04	6.1	年会特別講演 「無機電子機能材料の創出と 応用」細野 秀雄(東京工業大学)	13
3	研究発表申込要領		6.2	科学技術委員会企画講演会 「グローバル市場に向けた 先進セラミックコーティング」	13
3.1	研究発表申込手順	05	6.3	基礎セミナー「溶液からのセラミックス 合成の基礎と応用」	14
3.2	申込資格(発表資格)	05	6.4	男女共同参画企画 ランチョンセミナー 「セラミックスカフェ」	15
3.3	申込の注意点	06	6.5	企業展示会	16
3.4	言語の制限	06	6.6	企業説明会	16
3.5	発表形式・発表時間	06	7	募集	
3.6	連続発表	06	7.1	産官学ミキシングセッション 「透明焼結セラミックス」	17
3.7	トピックス研究発表(プレス発表)	07	7.2	元素戦略	18
3.8	年会発表セッション	07	7.3	サテライトプログラム	18
3.9	発表取り下げ(キャンセル)	07	7.4	教育セッション	19
			7.5	顕微鏡写真展 学術写真賞 募集要項	20-21

1. ご案内

1.1 お知らせ

- ◆ 予稿集の発行日 2017年3月1日(水)
2017年 年会予稿集の発行日は2017年3月1日(水)となります。
特許申請を計画の方はご注意ください。特許証明申請については下記のURLをご参照ください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n_tokkyo.html
- ◆ 託児所 申込締切:2017年2月28日(火)
料金はお預けになるお子様1人あたり1時間500円(税込)です。
ただし一日あたり1,500円のご負担を上限とします。
1時間500円、2時間1,000円、3時間以上のご利用の場合は1,500円となります。
託児所の利用を希望される方は、ホームページに掲載している申込フォームよりお申し込みください。
お申し込みがなかった場合、託児所は設置されません。ご了承ください。

1.2 年会開催日程・プログラム(予定)

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
会期1日目 3月17日(金)		基礎セミナー 溶液からのセラミックス合成の基礎と応用		昼食		一般講演		ポスター発表 奇数番号 偶数番号 コアタイム				
		サテライトプログラム			企業説明会							
会期2日目 3月18日(土)		一般講演		部会行事 昼食 セラミックスカフェ 教育		部会特別講演		アドバイザー ボードミーティング		特別講演		パーティー
会期3日目 3月19日(日)		一般講演 産官学ミキシング 透明焼結セラミックス		昼食		一般講演		科学技術委員会企画講演会 グローバル市場に向けた先進セラミックコーティング				

展 示 企業展示会・顕微鏡写真展・高校生作品展示

サービス等 総合受付・クロック・コーヒーサービス・託児所(要・事前申込)・LANサービス・プリントサービス(有料)・DVDドライブ貸出(無料・総合受付での使用に限る・持出不可)
総合受付およびクロックの開設は8:30~18:00(最終日は17:00)の予定。

1.3 重要な日時

内容	開始	締切
研究発表申込・予稿原稿提出 連続発表申込 トピックス講演(プレス発表)申込 産官学ミキシングセッション申込 サテライトプログラム申込	2016年12月1日(木) 14:00	2017年1月12日(木) 14:00
事前参加登録申込 基礎セミナー参加申込	2016年12月1日(木) 14:00	2017年2月10日(金) 14:00
事前参加登録入金	2016年12月1日(木) 14:00	2017年2月10日(金)
託児所申込	2016年12月1日(木) 14:00	2017年2月28日(火)
予稿集発行日・予稿集事前送付日	2017年3月1日(水)	
予稿インターネット公開期間	2017年3月1日(水) 10:00	2017年3月19日(日) 24:00
第42回セラミックスに関する 顕微鏡写真展 学術写真賞 作品応募	応募受付中	2017年1月31日(火) 必着

2.参加登録

2.1 参加手順

年会に参加される方は、招待者を除き**全員参加登録が必要です**。

研究発表をされる方も忘れずに必ず参加登録をしてください。事前参加登録を推奨します。

	事前参加登録	当日参加登録
1. 参加申込	web 申込 締切 2017年2月10日(金) 14:00 http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017	会期当日、総合受付にてお申し込みください。
2. 支払	郵便振替またはクレジットカード 入金締切 2017年2月10日(金)	会期当日、総合受付にてお支払いください。 現金のみ、カード不可。
3. 予稿集受取	入金確認ができた方に 予稿集(DVD)・領収書・参加証(名札)を送付。 発送 2017年3月1日(水)	会期当日。総合受付にて 予稿集(DVD)・領収書・参加証(名札)をお渡しします。
4. 会期当日	参加証(名札)を身につけて直接講演会場へご来場ください。	受付後、参加証(名札)を身につけて講演会場へ。

2.2 参加登録費

	個人会員 教育会員 特別(法人)会員の社員(聴講)	学生会員 シニア会員 永年継続会員	非会員
事前参加登録 (WEB 申込)	10,000 円 (不課税)	5,000 円 (不課税)	27,000 円 (税込)
当日参加登録 (現金のみ)	12,000 円 (不課税)	6,000 円 (不課税)	
年会パーティ 参加費	参加費: 8,000 円 (税込) 日時: 2017年3月18日(土) 19:00~ 会場: 東京医科歯科大学 M&D タワー26 階 ファカルティラウンジ 会期中の受付は会期二日目正午まで。ただし受付状況によっては当日の受付を締め切る場合があります。年会パーティ参加費は事前と当日による金額の違いはありません。		

参加登録費には予稿集(DVD)が含まれています。

事前参加登録費および当日参加登録費に食事代は含まれておりません。

見積書、納品書、請求書が必要な方は年会ホームページからフォームにて申請してください。

領収書は予稿集とともにお渡ししております。

事前参加登録の場合は、2017年3月1日(水)に発送いたします。当日登録の場合は受付時にお渡しいたします。

2.3 参加登録 注意事項

1. 年會に参加される方は、招待者を除き、**全員参加登録が必要です。**
研究発表をされる方も、忘れずに必ず参加登録をしてください。 事前参加登録を推奨します。
2. 事前参加登録について
 - ・事前参加登録を行い、入金確認が取れた方に、事前送付として、予稿集（DVD）・領収書・参加証（名札）を2017年3月1日（水）に発送いたします。ただし、送付先が海外の方は会期までに予稿集（DVD）を届けることが困難なため、事前送付はせず、会期当日に総合受付にてお渡しします。
 - ・事前参加登録費の入金締切日までに入金のない場合は事前送付対象外となります。締切日以降は会期当日に総合受付にて現金で当日参加登録費をお支払いください。
 - ・予稿インターネット公開をご利用いただけます。
 - ・年会パーティ、基礎セミナーも同時にお申し込みいただけます。
 - ・「事前参加登録のご案内」および払込取扱票は、本誌表紙の次ページに綴じ込まれています。払込取扱票は郵便局備え付けのものをご利用いただけます（郵便局備え付け用紙の場合、振込手数料は振込者本人負担となります）。
3. 2017年 年会予稿集の発行日は**2017年3月1日（水）**となります。特許申請を計画中の方はご注意ください。
4. 会員として事前参加登録をしたい場合、会員でない方は下記 URL より入会のお申し込みをお願いいたします。
<https://member.ceramic.or.jp/application.php>
入会手続きには会費納入の確認が必要なため、諸手続きとあわせて1週間程度の日数を要します。
個人会員・学生会員として申し込まれる場合は、2017年2月3日（金）までに入会手続きおよび入会金・年会費の振込を必ず済ませてください。

2.4 事前参加登録のキャンセル・返金

- A) 参加費振込前
参加登録番号を明記の上 nenkai2017@cersj.org までご連絡ください。
参加登録状況を確認し、キャンセルの手続きをいたします。
- B) 参加費振込後
下記の項目を明記の上 nenkai2017@cersj.org までご連絡下さい。
事前参加登録（2017年 年会参加登録費、年会パーティー参加費、基礎セミナー参加費）については、2017年2月10日（金）を期限として、返金時の振込手数料を差し引いて返金いたします。期限以降、事前送付作業に入りますので、何卒ご了承ください。なお返金は会期後となります。
 1. 銀行名:
 2. 支店名:
 3. 預金種別: 普通 | 当座
 4. 口座番号:
 5. 口座名義:
 6. 参加登録番号:

2.5 予稿 PDF インターネット公開

公開期間:2017年3月1日（水）10:00 ～ 2017年3月19日（日）24:00
事前参加登録を行い、入金確認が取れた方に、予稿をインターネット上に公開します。
各講演の予稿 PDF の閲覧およびダウンロードが可能です。
当日参加登録をされた方には、会期当日に希望者に閲覧用の ID を発行します。

3. 研究発表申込要領

- 申込 URL ■ <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/>
 ■ 申込受付期間 ■ 開始 2016年12月1日(木) 14:00
 締切 2017年1月12日(木) 14:00 **締切厳守**

Webからの申し込みのみ受け付けます。

パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても 締切後は一切の例外なく受け付けできません。

研究発表申込と予稿原稿提出を同時に受け付けます。

申込時に予稿原稿(PDF)と抄録(和文300字程度)が必須となります。

申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿PDFの差し替えが可能です。

修正や差し替えについても締切までに完了してください。

ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

3.1 研究発表申込手順

1. 申込	<p>http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/ 開始 2016年12月1日(木) 14:00 締切 2017年1月12日(木) 14:00 締切厳守</p>
2. 受理通知	<p>研究発表の申込受理の連絡は、即時電子メールにて連絡者に通知します。 このメールが即時届かない場合は、申込時に申し込みが正しく行われていない可能性が高いので、直ちに nenkai2017@cersj.org へご連絡ください。</p>
3. 講演番号通知	<p>2017年2月頃に、連絡者にメールで講演番号を通知します。 1月12日(木) 14:00に申込を締め切った後、申込内容を精査し、 1月16日(月)にプログラム編成を行う予定です。</p>
4. 参加登録	<p>事前参加登録または当日参加登録が必要です。事前参加登録を推奨します。 研究発表申込と並行して事前参加登録が可能です。</p>
5. 会期当日	<p>発表要領を参照の上、発表を行ってください。</p>

3.2 申込資格 (発表資格)

公益社団法人日本セラミックス協会の個人会員および学生会員。

研究発表申し込みにあたって、連絡者および発表者は**本会の会員(個人会員または学生会員)**であることが必要です。特別(法人)会員所属の社員で個人会員資格をお持ちでない方、その他、会員でない方は下記URLより入会のお申し込みをお願いいたします。

<https://member.ceramic.or.jp/application.php>

入会手続きには会費納入の確認が必要なため、諸手続きとあわせて1週間程度の日数を要します。

個人会員・学生会員として申し込まれる場合は、2017年2月3日(金)までに入会手続きおよび入会金・年会費の振込を必ず済ませてください。

3.3 申込の注意点

1. Webからの申し込みのみ受け付けます。
パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても 締切後は一切の例外なく受け付けできません。
2. 研究発表申込と予稿原稿提出を同時に受け付けます。
申込時に予稿原稿（PDF）と抄録（和文 300 字程度または英文 100 語程度）が必須となります。
申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿 PDF の差し替えが可能です。
修正や差し替えについても締切までに完了してください。
予稿原稿作成要領は別項をご覧ください。
3. Webでのお申し込みが完了した段階で「受付番号」が表示されます。この番号は、申込受付期間中に申込内容の確認・変更・取り下げ・予稿原稿ファイルの差し替えを行う場合に必要となりますので、必ず控えをとってください。
4. Webでの申込終了後、ご登録いただいた「連絡者」の電子メールアドレスに確認のメッセージが届きます。
この電子メールが即時届かない場合は、申込時に申し込みが正しくなされておられません。直ちに E-Mail: nenkai2017@cersj.org までご連絡ください。ご連絡がないまま Web 申込締切日を過ぎますと、再申込も一切受け付けられなくなりますのでご注意ください。例年、申込締切日にかなりの数の申し込みが集中いたしますが、トラブルを事前に避ける意味でもできる限り 締切日前日までに申し込まれるようお願いいたします。 申込締切日は以後の作業スケジュールを考慮して最大限、期日を遅く設定しております。発表申込者の皆様には事情をご理解の上、宜しくご協力のほどお願い申し上げます。
5. 2017 年年会予稿集の発行日は 2017 年 3 月 1 日（水）となります。
特許申請を計画中の方はご注意ください。特許証明申請については下記の URL をご参照ください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/tensai-tokkyo/n_tokkyo.html
6. 予稿集に掲載される予稿の著作権は、公益社団法人日本セラミックス協会に帰属します。

3.4 言語の制限

研究発表および予稿集に使用する言語は「日本語」または「英語」とします。

3.5 発表形式・発表時間

発表者の希望により、《口頭発表》・《ポスター発表》・《口頭またはポスター発表のどちらでも良い》のいずれかで受け付けます。ただし、会場等の都合により、発表形式の変更をお願いする場合があります。最終的な発表形式は、行事企画委員会にご一任ください。

《口頭発表》発表時間 15 分（発表 10 分、質疑応答 4 分、交代 1 分）

会場には液晶プロジェクタが用意してあります。PC は発表者ご自身でご用意ください。

PC の外部出力設定の不具合や映写用ソフトの誤操作が増えております。

発表前に操作の確認をし、必ず操作方法を熟知した上で、ご発表くださいますようお願いいたします。

発表要領は別項をご参照ください。

《ポスター発表》発表時間 120 分（コアタイム 60 分）

2017 年年会のポスター発表は会期 1 日目の 2017 年 3 月 17 日（金）15:30～17:30 を予定しております。

発表要領は別項をご参照ください。

ポスター発表では、日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞を選考します。詳細は別項をご覧ください。

3.6 連続発表

関連した内容の連続発表（3 件まで）を希望される場合は、ホームページより連続発表申込用フォームによりお申し込みください。ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。申込締切 2017 年 1 月 12 日（木）14:00

3.7 トピックス研究発表（プレス発表）

発表内容の新聞等への積極的な公表をご希望される研究発表について、選考の上、トピックス研究発表として新聞社等へ広報いたします。ご希望の方は、Webによる発表申込の際、トピックス研究発表希望に対する項目を設定いたしますのでご記入ください。また、選定の際に参考にさせていただきますので、トピックス研究発表申込用紙を <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017> からダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、事務局に電子メールでお送りください。トピックス研究発表への申し込みは他のマスコミや報道機関へ未発表のものに限ります。

3.8 年会発表セッション

演題登録時に、以下のセッション表から、発表を希望するセッションをお選びください。
《材料・物性セッション》と《手法セッション》からそれぞれひとつずつ選択し、どちらかを第一希望としてください。プログラム編成の際に、この情報を用います。全てのセッションで口頭発表とポスター発表を受け付けます。発表形式を含め、最終的な発表セッションについては行事企画委員会にご一任ください。

	セッション名	キーワード
〈材料・物性セッション〉	01. エンジニアリングセラミックス	構造用セラミックス、複合材料、繊維、耐火物、多孔体、機械的特性、信頼性、トライボロジー、熱物性、耐食・耐酸化性、接着・接合、コーティング、キャラクタリゼーション
	02. 誘電性材料	強誘電性材料、圧電体、セラミックコンデンサ、高周波材料、薄膜プロセス、光機能性
	03. 導電性材料	電子機能材料、電極、半導体セラミックス、センサ、イオン伝導体、熱電変換、薄膜プロセス、光機能性
	04. 磁性材料	磁場応答材料、磁性体、フェライト、コイル、薄膜プロセス、光機能性
	05. ガラス・フォトンクス材料	ガラス・アモルファス材料、結晶化ガラス、蛍光体・蓄光体、光学素子、ガラス固化体、ガラス構造、電気・磁気・光学的性質、熱・機械・化学的性質、緩和・融体物性、熔融法、レーザー加熱法
	06. 生体関連材料	バイオセラミックス、医用材料、歯科材料、抗菌性材料、生体模倣材料、生体適合性、生体活性、細胞機能制御、再生医療、ドラッグデリバリーシステム、診断
	07. セメント	セメント、循環型社会、低炭素社会、循環型資源、リサイクル
	08. 陶磁器	粘土、炉、可塑成形、高圧鋳込み、粉体プレス、釉薬、絵付け、金銀装飾
	09. 環境・資源関連材料	資源回収・再利用、廃棄物処理・再利用、光触媒、環境浄化材料、分離・吸着材料、省資源、水処理、ナノ粒子、粉末、多孔体
	10. エネルギー関連材料	燃料電池、二次電池、太陽電池、キャパシタ材料、エネルギー貯蔵材料、水素エネルギー材料、省エネルギー材料
	11. その他材料	上記以外の新材料、新物質、新物性、新機能、新領域
	12. 教育	地域貢献、高大連携、生涯学習支援、社会人教育、インターンシップ、人材育成、キャリア教育
〈手法セッション〉	13. 液相プロセス	ゾルゲル法、熱分解法、沈殿法、水熱合成法、ソルボサーマル法、液相析出法、電解析出法、液晶鋳型法、電気泳動、インターカレーション、イオン交換、単結晶合成
	14. 気相プロセス	PVD、CVD、プラズマプロセス、単結晶合成
	15. パウダープロセス	粉体特性、粉碎、スラリー、分散、成形、乾燥、焼結、接合、加工、燃焼合成、溶射
	16. キャラクタリゼーション	構造評価・解析、元素分析、状態分析、組織解析、計算機シミュレーション、計算科学、分析・解析手法開発、新物質
	17. 教育	アクティブラーニング、ICT活用、PBL、サービスラーニング

3.9 発表取り下げ（キャンセル）

発表取り下げ（キャンセル）は、研究発表申込締切日までに申込画面からお手続きください。取り下げ手続きは、申込画面から取り下げたい受付番号を入力の上、取り下げボタンにチェックを入れて完了画面まで進んでください。

4. 予稿原稿作成要領

本要領は予稿原稿作成上の留意事項をまとめたものです。AdobePDF (Portable Document Format) 形式ファイルの電子投稿のみとします。行事企画委員会では、各種ワープロソフトの文書ファイルからPDF形式ファイルへの変換サービスは行いませんのでご了承ください。予稿集に掲載された予稿の著作権は、公益社団法人日本セラミックス協会に帰属します。また、予稿集の電子化に伴い、投稿されたファイルはそのままの形で電子版予稿集に掲載されます。

4.1 予稿原稿の投稿方法

1. 投稿はPDFファイル(電子ファイル)のみ受け付けます。
2. 予稿原稿の投稿は、下記URLよりアップロードしてください。
3. アップロードできるファイルサイズの上限は3MB程度です。文書中の写真や画像の解像度に注意してください(4.2-5項を参照)。ファイル名はご自由に設定してください。
4. 電子メールの添付書類での電子投稿は受け付けません。
5. 必ず期日までにWebから電子投稿していただきますようお願いいたします。

■ 申 込 URL ■ <http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/>
 ■ 申込受付期間 ■ 開始 2016年12月1日(木) 14:00
 締切 2017年1月12日(木) 14:00 **締切厳守**

Webからの申し込みのみ受け付けます。

パソコンやネットワークのトラブル等、いかなる理由であっても 締切後は一切の例外なく受け付けできません。

研究発表申込と予稿原稿提出を同時に受け付けます。

申込時に予稿原稿(PDF)と抄録(和文300字程度)が必須となります。

申込後、期間内であれば申込内容の修正、予稿PDFの差し替えが可能です。

修正や差し替えについても締切までに完了してください。

ご理解、ご協力のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

4.2 電子ファイルの作成方法

1. AdobePDF 形式で投稿していただきます。

2. 用紙の設定:

原稿に用いる用紙のサイズは A4 判 (297mm×210mm) 縦とします。必ず Word のテンプレートファイルをホームページ (<http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/>) よりダウンロードして使用してください。

3. PDF 原稿を作成する際の OS とアプリケーション:

OS は各社サポート対象となっているバージョンを推奨いたします。PDF を作成するアプリケーションは、各 OS に対応した Adobe 社の Acrobat を推奨いたします。作成方法については Acrobat 付属のマニュアルをご覧ください。例えば Word から Acrobat で PDF を作成する場合は、メニューの「ファイル」→「プリント」→「プリンタ」で「Adobe PDF」を選択→「プロパティ」(Mac では「PDF オプション」)より「High Quality」もしくは「Press Quality」を選択の上「プリント」ボタンを押してください。Mac OS X には、標準で PDF 形式のファイルを作成する機能があります。プリントのダイアログにある「PDF として保存」を選んでください。その際に「拡張子を隠す」のチェックをはずすと、ファイル名に“.pdf”がついたことが確認できます。特に、Adobe Acrobat 以外の PDF 作成ソフトでは、使用したフォントが別のフォントにおきかわる場合がありますので、必ず作成後確認を行ってください

4. 使用可能なフォント:

コンピュータの機種・環境により文字化けが発生する可能性がありますので、使用可能なフォントを下記の範囲に制限させていただきます。電子ファイルアップロード(電子投稿)の際に使用フォントのチェックを行います。指定外のフォントを使用したファイルは投稿できませんのでご注意ください。また、前項の通り pdf 形式ファイルを「High Quality」もしくは「Press Quality」を選択して作成することで文書にフォントが埋め込まれ、文字化けが起こらなくなります。メニューの「ファイル」→「文書のプロパティ」の「フォント」で、使用している下記のフォントが「埋め込みサブセット」になっていることをご確認ください。

MS 明朝、MS ゴシック、MS P 明朝、MS P ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック、ヒラギノ明朝、ヒラギノ角ゴ

Arial, **Arial-Bold**, *Arial-Italic*, **Arial-Bold Italic**, Courier, **Courier-Bold Oblique**, *Courier-Oblique*, Helvetica, **Helvetica-Bold**, *Helvetica-Bold Oblique*, *Helvetica-Oblique*, Symbol, Times-Roman, Times, Times New Roman, **Times-Bold**, **Times-Bold Italic**, *Times-Italic*, Zapf Dingbats

5. 写真や画像などの解像度と大きさ:

写真や画像の解像度は600dpi程度を推奨します。解像度を上げすぎると、ファイルサイズが大きくなります。解像度を下げすぎると仕上がりが悪くなります。カラーの写真、画像をお使いいただけます。ただし、本文は白黒としてください。

6. 作成したPDFファイルの確認:

いずれの方法で作成した場合も、必ずPDF閲覧ソフトウェアで印刷を行い、意図した原稿になっていることを確認してください。

7. ファイル形式とファイル名:

ファイル名はご自由におつけください。

ただしMac OSをお使いの方も必ずPDFの拡張子を付けてください。

(例) 日本セラミックス協会年会-氏名.pdf

4.3 予稿原稿作成見本

A4 用紙(縦) PDF ファイルのみ受け付けます(郵送不可)

上部余白 25 mm

← 講演番号貼込スペース (30 mm 以上) →

予稿原稿作成見本

(セラミックス大学) ○世良太郎・三久須花子、(マテリアル研究所) John. F. Ceramics

Example of Preprints / T. Sera, H. Mikusu(Ceramics Univ.), J. F. Ceramics (Materials Inst.) /
 The manuscript should be typewritten on A4 (210 × 297 mm) paper with 25 mm margins for top and bottom and 20 mm margins for left and right. Presentation title, authors' names, affiliations and an abstract of 50-100 words in English should be presented. Please read carefully the following instructions and prepare a clear manuscript for the annual meeting.
 問合せ先:E-mail: taro.sera@ceramics-u.ac.jp

↑ 55mm
↓ 65mm
程度
↓

(本文)

- 1) 予稿原稿は、Microsoft Word 用テンプレートファイルを協会ホームページからダウンロードして作成してください。(http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/)
 - ・予稿原稿サイズは A4 縦置きで、余白(マージン)は、左右 20 mm、上下 25 mm です。枠線は不要です。
 - ・文字サイズは、演題 12 ポイント(ボールド)、英文概要 9 ポイント、本文 10 ポイントです。
 - ・テキスト本文は黒字とし、画像(グラフ、写真)は白黒またはカラーとします。
 - ・段組みはしないでください。
 - ・講演番号、ページ番号等のヘッダー・フッターは事務局で付けます。
- 2) ページ数は 1 ページで作成してください。
- 3) 提出ファイルは Adobe PDF 形式に限ります。PDF ファイルの作成に当たって、以下の点にご注意ください。
 - ・ Adobe Acrobat Reader 5.0 以上で表示・印刷可能なファイルとしてください。
 - ・ PDF ファイルの大きさは、3 MB 以下になるようにしてください。
 - ・文字化け防止のため、フォントを埋め込んでください。
 - ・セキュリティ設定は「なし」としてください。
- 4) 執筆要領
 - ・発表者(登壇者)には ○印を付けてください
 - ・演題、日本語の所属・氏名、英文概要の後にそれぞれ 1 行空けてください。
 - ・英文概要は、演題、著者(登壇者には下線をつける)、所属、抄録(50~100 語)の順に書いてください。
各項目は / (半角スペース+半角スラッシュ+半角スペース) で区切ってください。
 - ・英文概要の後に問合せ先(E-mail または FAX)を書いてください。
発表者が学生の場合は指導教員の連絡先を記載してください。
 - ・英文概要と本文の間に、線を引いてください。
 - ・図表のキャプションおよび軸タイトル、凡例等は、原則英語で記載してください。
解像度は 600 dpi 程度をお勧めします。
 - ・単位は原則 SI 単位を使用してください。

→ (この枠は書かないでください)

日本セラミックス協会 2017 年年会 講演予稿集
 © The Ceramic Society of Japan, 2017

下部余白 25 mm

↓

(このフッターは協会で編集時に挿入します)

5.発表要領

トラブル回避のため、下記をご熟読の上、事前準備をお願いいたします。

5.1 口頭発表要領

A. 発表時間 (1コマ15分)

一般講演 合計 15分 (講演 10分、質疑応答 4分、交代 1分)

招待講演 合計 30分 (講演 25分、質疑応答 4分、交代 1分)

B. 準備する機材等

1. 協会は以下のものを準備いたします:

- ① 液晶プロジェクタ
- ② プロジェクタ接続用ケーブル (ミニD-sub15 ピン端子 (オス))
- ③ モニタ切替器
- ④ パソコン用AC電源 (テーブルタップ)

2. 発表者は以下のものを準備してください:

- ① パソコン (映像出力端子がミニD-sub15 ピン端子 (メス) のもの)
- ② プロジェクタ接続用アダプタ (ミニD-sub15 ピン端子 (メス) を持たないパソコンをご使用の際には必ずご持参ください) 極薄型ノートパソコンやMac OS 機の場合には特にご注意ください。

C. 準備・発表の流れ

次講演者席を用意していますので、必ず発表時間の前に着席し、時間に余裕をもって発表準備を行ってください。協会が設置するモニタ切替器には最大3本のケーブルが接続されています。ご自身の発表の最大2件前から接続を行うことができます。

1. 「パソコンを起動し、プレゼンテーション用ファイルを開く」
2. 「発表前にケーブルを接続する」
3. 「外部映像出力へ切り替える」
4. 「自分の発表時間が来たらモニタを切り替える」
5. 「発表する」
6. 「発表終了後、速やかにパソコンの接続ケーブルを取り外す」

D. 確認・注意事項

1. パソコン画面の外部映像出力への切替方法を、お手持ちのパソコンのマニュアル等によりご確認ください。Windows機とMac OS 機、さらに機種やOS のバージョンによって切替方法が異なります。
2. パソコン画面の解像度 (XGA、SXGA、SXGA+、WXGA など) をご確認ください。今回使用できる液晶プロジェクタはXGA (1024×768 ピクセル) まで表示が可能です。SXGA 以上の高解像度やワイド型パソコンのWXGA ですと正確に表示されない場合があります。
3. プレゼンテーションソフト (パワーポイントなど) の操作方法をご確認ください。
4. パソコンの起動 (あるいはスリープ状態の解除) 前に液晶プロジェクタと接続しておかないと映像出力が認識されない機種がありますので、充分ご注意ください。(MacOS 機の一部等)
5. 音声の接続は行いません。発表あるいは準備中にパソコンから音声・サウンドが出ないように、予め設定してください。
6. 発表中にパソコンの画面が消えないよう電源や省電力機能の設定をご確認ください。
7. 協会は発表用のパソコンを用意いたしません。
8. パソコンの接続・モニタ切替・操作等はすべて発表者側で行っていただきます。
9. パソコンのトラブルによる発表時間の延長は認めません。
10. 試写室は設置しません。各会場の空き時間 (朝、昼休み、休憩時間帯など) に映写・接続確認を行ってください。

5.2 ポスター発表要領

1. ボードのサイズ
 横幅 900mm×高さ 2000mm (予定) ポスターはボードに収まる範囲で作成してください。
 推奨サイズ:A0 (横 841×縦 1189mm)。
2. 英語表記
 タイトル、発表者、所属が日本語の場合は英語でも表記してください。
 図、表のキャプション、軸、凡例は英語で表記してください。
3. 掲示方法
 パネル掲示の際は、押しピン (画鋲) を使用してください。マグネット、テープは不可。
 押しピン (画鋲) は協会が用意いたします。
 ポスターボードには講演番号を掲示いたします。
 指定された場所にポスターの掲示をお願いいたします。
4. 掲示、発表、撤去時間
 掲示時間: 2017年3月17日(金) 9:00~15:30 (予定)
 発表時間: 2017年3月17日(金) 15:30~17:30
 講演番号 奇数 コアタイム 15:30~16:30 (60分)
 講演番号 偶数 コアタイム 16:30~17:30 (60分)
 撤去時間: 2017年3月17日(金) 17:30~18:00
 ※時間までに未撤去のものは、総合受付でお預かりした後、廃棄処分いたします。

5.3 年会優秀ポスター発表賞

日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞は、年会において優れたポスター発表を行った若手会員を表彰するもので、研究内容及びプレゼンテーションを評価の対象として、最優秀賞と優秀賞を選考いたします。昨年の日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞の結果については、セラミックス誌本年7月号およびホームページをご参照ください。

対象:

発表者が第一著者であるすべてのポスター発表の中で、発表者が当該年会開催時点で35歳以下の発表を対象といたします。発表者は個人会員・学生会員が対象となります。

選考:

「日本セラミックス協会年会優秀ポスター発表賞選考委員会」が行います。審査の指示がある場合は従ってください。

申込:

Webでの研究発表申込時に、選考を希望されるかどうかをご選択ください。

「希望しない」を選択された場合は、有資格者であっても選考されませんのでご注意ください。

6.企画・イベント

6.1 年会特別講演

演題	無機電子機能材料の創出と応用
講師	細野秀雄（東京工業大学 科学技術創成研究院 元素戦略研究センター） 無機材料科学、特に無機電子材料、無機光材料、ナノポーラス機能材料に関して世界的に極めて先進的な研究を行っている。超伝導物質、透明酸化物半導体など、世界の注目を集める成果を多数報告している。また、数多くの世界的な賞を受賞しており、例えば 2016 年には日本国際賞を受賞。また、同年細野秀雄教授、神谷利夫教授、川副博司名誉教授は、「無機電子機能材料の創出と応用に関する研究」に関して日本セラミックス大賞を受賞している。
会場	東京医科歯科大学 M&D タワー2 階 鈴木章雄記念講堂
日時	2017年3月18日（土）17:30～18:30
参加費	無料（ただし、年会参加者のみ・事前のお申し込みは必要ありません）

6.2 科学技術委員会企画講演会

テーマ	グローバル市場に向けた先進セラミックコーティング
座長	産業技術総合研究所 先進コーティング技術研究センター 研究センター長 明渡純
会場	年会口頭発表会場内（調整中 決定次第ホームページ等で告知いたします）
日時	2017年3月19日（日）13:00～17:00（会期3日目）
趣旨	セラミックはこれまでバルク材料を中心に各種産業に用いられてきたが、近年、セラミックコーティング技術は、耐摩耗性、耐焼付き性、耐腐食性、耐酸化性に優れたセラミック膜をコーティングすることで製品の性能、寿命、使用範囲等を大幅に向上できるため、航空機や自動車産業では、エンジンの耐熱性改善の用途のみならず、工具や金型を始め機械部品、半導体部品、製造装置及び産業機械など幅広い分野に応用されている。また、電子機器に使われているコンデンサ、フィルタ、セラミックス半導体、透明導電膜などの電子部品や IOT を支えるセンシング技術においても高集積化、積層化、フレキシブルなどのコーティング技術がデバイス性能を決める重要なキーパラメーターとなってきた。 高性能セラミックコーティングのグローバルな市場は、2013年に約6000億円であるが、2014年から2020年まで7.0%の年間成長率が見込まれ、2020年に約1兆円に達すると予測されている。日本国内では、現状、500～600億円規模の市場だが、年率15～20%の伸びを見せており、地球温暖化対策の必要性の高まりとともに、蓄電池やパワーエレクトロニクスなどのエネルギー関連分野、更には医療分野などをはじめとして更なる用途展開と市場規模の拡大が続くものと考えられる。 このような背景を基に、これまででもセラミックス材料を対象に CVD、PLD、蒸着、イオンプレーティング、スパッタリング、ゾルゲル法、溶射法などのコーティング技術に関する研究開発が活発に進められてきたが、最近では、プロセスの低温・高速化、異種材料積層・複合化がより重要な課題になってきている。これまでセラミックスコーティングは横断的技術対象であり、共通課題や各プロセッシングの応用開発に関して一堂に会し議論する機会が少なかった。本特別セッションでは、グローバル市場獲得にむけたセラミックスコーティングの現状と新機能、高信頼性への課題について議論したい。
次第	挨拶：科学技術委員会 委員長 鶴見敬章 ①13:00 セラミックスコーティング市場の世界動向と戦略 富田賢時（JFCA） ②13:30 産総研の先進コーティング技術と戦略 明渡純（AIST） ③14:00 耐環境性セラミックスコーティングの開発 北岡諭（JFCC） ④14:30 電子・光機能性セラミックス薄膜創製のための気相法成長の現状と課題：高速・低温成長への挑戦 山本哲也（高知工科大） （休憩：15:00～15:15） ⑤15:15 溶液法によるセラミックスナノコーティング 長田実（NIMS） ⑥15:45 放射光X線回折によるナノ構造解析技術の進展 黒岩芳弘（広大） ⑦16:20～17:000 パネルディスカッション 「グローバル市場獲得にむけたセラミックスコーティングの現状と新機能、高信頼性への課題」

6.3 基礎セミナー「溶液からのセラミックス合成の基礎と応用」

今年度は、溶液からのセラミックスの合成に焦点をあて、行事企画委員会主催の基礎セミナーを開催します。講師には世界的に活躍されている先生方をお招きし、基礎から応用まで、初学者向けにわかりやすく解説して頂きます。これらの研究をはじめたいと思っている企業研究者や学生の方々、すでに行っているが基礎から見直したいと思っているの方々など、多数の参加をお待ちしております。セラミックス協会会員の方はもちろん、新たにセラミックス協会に入会しての参加や非会員としての参加も可能です。是非、奮ってお申し込みください。

<プログラム (予定) >

日時 2017年3月17日(金) 9:30~12:30

座長 脇原徹 (東京大学)

時間	講演内容・タイトル (仮)	講師	講師紹介
9:30 - 10:45	バイオミネラリゼーションに倣う 酸化物合成	慶應義塾大学 理工学部応用化学科 今井宏明	溶液プロセスに基づいた様々な結晶成長 デザインを行い、結晶配向性・形態をナ ノレベルで制御する先進的な研究を行っ ている。エネルギー材料・生体材料への 機能応用開拓を行い、国際的に高い評価 を受けている。
10:45 - 11:00	質疑応答・休憩		
11:00 - 12:15	新規材料合成法から バイオ分野応用をターゲットにした セラミックエレクトレットの 表面静電場による固体析出反応の制御	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 素材部門無機材料分野 山下仁大	セラミックスの電気特性に着目し、分極 処理による表面特性および表面静電エネ ルギーのナノレベルでの制御に関する研 究を行っている。セラミックス材料化 学・生物学・医歯学への幅広い応用研究 を行い、世界的に注目を集めている。
12:15 - 12:30	質疑応答・名刺交換会		

<基礎セミナーの参加費用> 参加費用:2017年年会の参加費用+基礎セミナーの参加費用

会員種別	個人会員 (学生会員、シニア会員、教育会員含む)	特別会員	非会員
セミナー 参加費用	500円 (税込)	5,000円 (税込)	5,000円 (税込)

*セミナーへの参加は年会参加が必要です。セミナー単独の参加はできません。

*セミナー資料の準備と受付の混乱を避けるために、Webからの事前申し込みを原則といたします。

*空きがある場合のみ、当日受付を行います。

*非会員の方も、Webから事前申し込みをしてください。当日入会すると、会員価格にて参加することもできます。

 公益社団法人日本セラミックス協会

主催：男女共同参画委員会
協力：行事企画委員会

2017 年年会 ランチョンセミナー セラミックスカフェのご案内 Ceramics Cafe

★セラミックス協会会員以外の方も、どなたでもご自由に参加いただけます。

日時：2017年3月18日（土）12時～13時
会場：日本大学（駿河台キャンパス）1号館2階M会場（予定）
ランチ：お弁当と飲み物を無料でお配りします。（先着70名）
（ランチを食べながらお聞きください）

12時～12時40分 講演 ダイバーシティで心がけていること
渡利 広司（産業技術総合研究所）
12時40分～13時 フリートーク&交流



一昨年8月に女性活躍推進法が時限立法で制定されたのはご存知でしょうか？
これから各機関でダイバーシティマネジメントを考える機会が増えてきますが、
戸惑っている方も多いのではないのでしょうか？
この機会に、「ダイバーシティ」について皆様と考えてみたいと思います。

今回は、「ダイバーシティで心がけていること」と題して産業技術総合研究所 渡利広司氏による
講演を行います。

ダイバーシティの重要性を踏まえながら、今後の仕事、研究生活、家族生活など
“心地よい生き方”について、一緒に考えたいと思います。

話題提供では、“これまでの経験紹介、外国人及び女性の上司と部下との関係づくり”や
“人との接し方で心がけていること”等を紹介します。

学生さんにとっては就活・就職に臨むための基本編として
管理職の方にとってはダイバーシティマネジメントを進めるための
意見交換の場としてセラミックスカフェをぜひご活用ください。

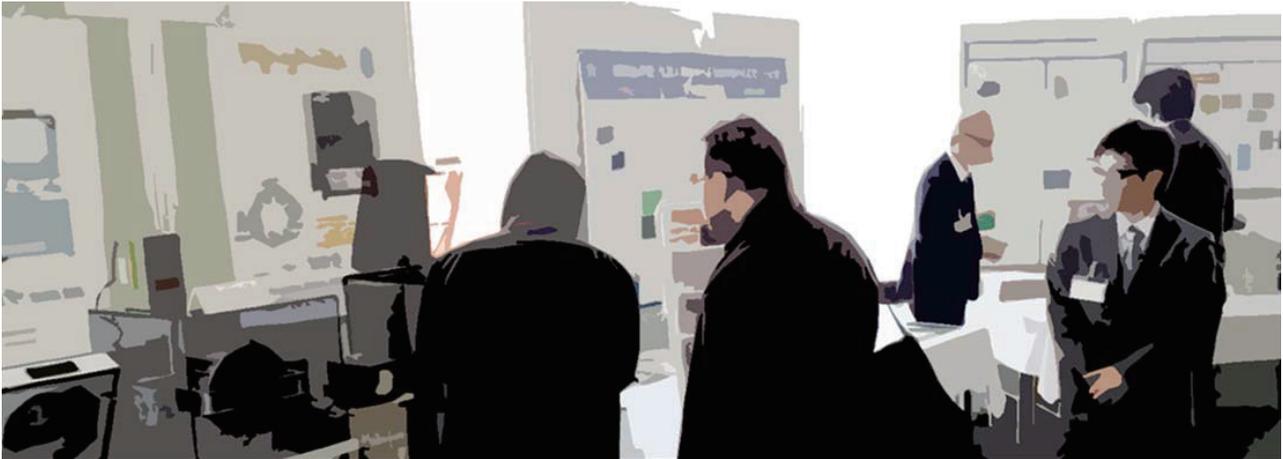
6.5 企業展示会

日本セラミックス協会行事企画委員会では、2017年年会においてもセラミックス関連企業の展示会を開催いたします。情報交換や交流の場として、ぜひご活用ください。

会場 日本大学 駿河台キャンパス 1号館 5階
 日時 2017年3月17日（金）9:00～3月19日（日）15:00

出展予定企業（順不同）

㈱ブリス・㈱クリスタルシステム・㈱ナガオシステム・フリツチュージャパン㈱・マイクロトラック・ベル㈱・
 ㈱堀場製作所・（一社）化学情報協会・㈱UNICO・ヴァーダー・サイエンティフィック㈱・アイエムティー㈱・
 アシザワ・ファインテック㈱・㈱アントンパール・ジャパン・㈱日立ハイテクノロジーズ・日本特殊陶業㈱



6.6 企業説明会

企業説明会とは、セラミックスに携わる人材が一堂に会する年會を、特別（法人）会員の皆様と就職を控えた学生・就職担当の高等教育機関職員との間の情報交換ならびに人材マッチングの場として有効に使っていただきたいという発想から生まれた企画です。少人数ブース制のアットホームな雰囲気の中で、セラミックス関連企業の方々とじっくりお話をされてみてはいかがでしょうか。

学生のみならず、学生・就職担当の高等教育機関職員のみならず、ふるって【企業説明会】にご参加ください！

会場 日本大学 駿河台キャンパス 1号館 4階
 日時 2017年3月17日（金）10:00～16:00

参加方法 直接会場にお越しください。企業説明会のみ参加の場合、年會の参加登録は不要です。

出展予定企業（順不同）

㈱MARUWA・三井金属鉱業㈱・TDK㈱・京セラ㈱・石塚硝子㈱・ニチアス㈱・品川リフラクトリーズ㈱・
 ㈱ノリタケカンパニーリミテド・新日鐵住金㈱・矢橋ホールディングス㈱・堺化学工業㈱



7.募集

7.1 産官学ミキシングセッション「透明焼結セラミックス」

日本セラミックス協会年会では、イノベーション創出の源泉となることを期待し、産業界のニーズと官学の研究シーズの出会いの場として『産官学ミキシングセッション』を設けています。本セッションは産官学の相互交流及び連携を更に促進することを目的とし、広範なセラミックス技術の中から毎年、注目度の高い研究領域に焦点をあてます。

本年度は、近年脚光を浴びている透明焼結セラミックスについてセッションを設けました。透明材料としてのセラミックス焼結体は、機能の向上や新規アプリケーションの出現により、広がりを見せ始めています。日本セラミックス協会では、『透明焼結セラミックス』について、研究発表を募集いたします。透明焼結セラミックスに関する、調査研究、試作・製造技術、応用製品、技術調査など、いろいろな視点に立った幅広い研究発表を募集します。

【セッションの内容】

本セッションは、ニーズの視点に立ち技術領域におけるセラミックスユーザーの代表の方に講演いただく『ユーザーサイド2017』と研究シーズとしてそれに関連する「一般講演」からなります。興味を同じくする広い領域の研究者・技術者に参加していただき、ニーズ及びシーズの接点を見出しやすい環境を設けます。

ユーザーサイド2017（招待講演）
(株)ワールドラボ 池末明生
横浜国立大学大学院 環境情報研究院人工環境と情報部門 多々見純一
東ソー(株) アドバンストマテリアル研究所 山下勲

一般講演は、『透明焼結セラミックス』にフォーカスし、対象となる技術領域に関連し、かつ積極的な連携を希望するものを募集します。「連携を目的とした既発表内容を主とした講演」や「産業界からのニーズ提示及び共同研究の提案の講演」でも結構です。また、より緊密な発表者とのコミュニケーションができるポスターセッションでも『産官学ミキシングセッション』の枠を設定いたします。

【申し込み方法】

Webによる2017年年会発表申込において、『産官学ミキシングセッション』での発表希望を選択してください。発表の希望件数が多くなった場合はプログラム編成において調整させていただく場合もございます。ご希望に添えない場合もあるかもしれませんが、ご容赦ください。

【発表形式】

『産官学ミキシングセッション』は《口頭発表》及び《ポスター発表》で構成されます。

本セッションの申込みの際は、ご希望に沿っていずれかをご選択ください。口頭発表時間は、一般講演発表と同じく15分（発表10分、質疑応答4分、交代1分）といたします。発表時間が不足する場合は連続講演として下さい。なお、『ユーザーサイド』は30分を予定しています。

『産官学ミキシングセッション』の開催は会期3日目10～12時、「ガラス・フォトニクス材料」セッション会場での開催を予定しています。

7.2 元素戦略

日本セラミックス協会では、次世代のセラミックス研究の方向性の一つとして、元素戦略を推進しております。これまでの年会では、元素戦略セッションを設け、一般講演の一部として元素戦略に関連した講演を募集いたしました。

今年度の一般講演におきましても、昨年度に引き続き元素戦略に関連した講演を募集いたします。申し込むには、一般講演の Web 研究発表申込時に関連項目をチェックしてください。なお、プログラムに関しましては行事企画委員会に御一任ください。

7.3 サテライトプログラム

行事企画委員会では、年会のサテライトプログラムとしてセラミックスに関する学術・研究・教育など各分野での集会やセミナーとして利用していただくために、年会の会場を無料で提供しております。

2017年年会も下記の通りサテライトプログラムの開催を募集いたします。

- 日 時: 2017年3月17日(金) 9:00~12:00
(開催時間延長をご希望の場合は、E-Mail: nenkai2017@cersj.org までご相談ください。)
- 主 催: 日本セラミックス協会・各支部・部会・研究会・委員会および行事企画委員会が認める組織・団体
- 内 容: セラミックスに関する学術・研究・教育などの各分野の集会やセミナー
- 会 場: 1プログラムにつき原則として1会場を無料で提供いたします。
スクリーンおよびプロジェクタ(会場の規模によってはマイク)は用意いたしますが、受付、案内・掲示、PC等は各団体で用意してください。
- 会 告: セラミックス誌2017年3月号、協会ホームページ、予稿集に会告を無料で掲載いたします。
会告の内容は行事企画委員会の規定に準拠していただきます。
ホームページより会告用原稿フォーマットをダウンロードできますので、締切日までに送付願います。
- 申込方法: 2017年年会ホームページ(<http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/2017/>)のフォームよりお申し込みください。
申込後、会告用原稿を下記宛にお送りください。原稿フォーマットもホームページに掲載予定です。
公益社団法人日本セラミックス協会 サテライトプログラム係
E-Mail: nenkai2017@cersj.org
- 申込締切: 2017年1月12日(木) 14:00 必着

ご不明の点は上記申込先にお問合わせください。なおサテライトプログラム開催の承認は、行事企画委員会が行います。開催内容がサテライトプログラムの趣旨にそぐわない等の場合には開催をお断りする場合がございます。

7.4 教育セッション

2017年年会・教育セッションでの発表を是非ご検討下さい

高校、高専、大学、企業等における工学教育を充実させることは、ものづくり活動を通じて社会を支える技術を担う人材を育てるという観点から極めて重要です。教育委員会では、この目的を達成するために、年会での教育セッションおよび高等学校作品展、セラミックス大学、課題研究フォーラムなどの活動を行っています。

教育を充実させるために重要なものは、教師のスキルアップと優れたコンテンツです。これまで年会教育セッションでは、小中学校から大学・大学院までを対象とした、広範囲にわたるセラミックス・材料関連の優れた教育の取り組みや実習などに関する発表が、多数行われてきました。その聴講や質疑応答を通じて得た情報が参考になって、自らが担当する授業・実験実習の内容や方法の改善に役立ったという声を、多くの参加者の皆様から頂戴しています。

2017年年会でも教育セッションを設けます。これからのセラミックスを支える人材の育成を一層推進するためにも、ぜひ年会・教育セッションで、さまざまな教育に関わる事例や取り組みについてのご発表をいただきたくお願いいたします。

例えば、「授業や学生実験での取り組みの紹介」、「効果的だった教育方法」、「産学連携・地域連携の教育活動」、「社会人教育の事例」、「企業における人材育成の取り組み」、「キャリア教育」など、教育に関する話題であれば何でも構いません。教育に携わる皆様の情報交換の場として、教育セッションを積極的に活用していただきたいと思います。代表的なキーワードを下記に挙げますが、これら以外のものも歓迎します。

教育セッションにおける発表のキーワード例

教育方法	アクティブラーニング、PBL、ICT活用、反転授業など
教材開発	実験教材の開発、教育ソフトウェア、e-learningコンテンツ など
技術者教育	JABEE、倫理教育、継続教育、社会人再教育、人材育成など
連携教育	キャリア教育、サービスラーニング、高・高専・大連携、地域連携など

2017年年会での教育セッションは、**一般セッションと同様に行われる予定です**。セラミックス・材料教育にご関心のある方の積極的な参加をお待ちしております。

お問い合わせはこちらへ：cersj-kyouiku@cersj.org

公益社団法人日本セラミックス協会 第42回学術写真賞 募集要領
協賛 公益社団法人 日本顕微鏡学会

応募対象となるのは、光学顕微鏡、電子顕微鏡、プローブ顕微鏡、X線CTなどで観察されたセラミックスおよび関連材料に関する学術性の高い写真です。郵送不要のメール応募が可能です。皆様からの応募をお待ちしております。今回より、下記の通り募集部門を設けました。

1. 募集部門

下記の4部門で応募を受け付けます。応募者連絡票に応募部門を明記してください。

- (1) TEM/STEM (EDS,EELS,その場観察などの関連手法を含むが3D観察は除く)
- (2) SEM (EDS,EPMA,EBS,その場観察などの関連手法を含むが3D観察は除く)
- (3) 3D観察 (FIBやSTEMなどによる各種セクションング法,TEM/STEM/X線などによる各種トモグラフィ法,3Dアトムプローブなど)
- (4) その他顕微鏡法 (AFM・PFM・STMなど電子線を使わないプローブ顕微鏡法や光学顕微鏡など上記(1)-(3)に含まれない観察手法)

2. 提出物

1件の応募につき下記2点をご提出ください。

- (1) 応募者連絡票 (word)
- (2) 写真および説明文 (PDF)

応募者連絡票、写真および説明文のフォーマットは下記ホームページからダウンロードしてください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/hyosho/shashin_sho.html

応募の際は、あわせて次ページの **9.提出物の作成方法・留意点・作成例** をご覧ください。

3. 応募方法・応募先

メールまたは郵送・宅急便にて受け付けます。

メール: syasinsyo@cersj.org

郵送先: 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-22-17 公益社団法人日本セラミックス協会 学術写真賞係

4. 応募締切

2017年1月31日(火) 必着 ※締切の延長はありません! 余裕を持ったご応募をお願いいたします。

5. 応募資格

- ・応募者に少なくとも1名の当協会会員(個人会員、教育会員、学生会員、特別会員所属の社員)または協賛学協会会員が含まれていること。
- ・他学協会等の同様の賞を受賞していない作品であること。

6. 応募作品の取り扱い

- ・応募作品(写真と説明)はすべて2017年年度の予稿集に掲載され、また、年會会場に展示いたします。
- ・受賞作品は日本顕微鏡学会学術講演会での展示も予定しております。
- ・すべての応募作品に参加賞を贈呈します。展示用写真と説明用紙を写真用額縁(A3サイズ)に額装のうえ返送し、これを参加賞とさせていただきます。
- ・セラミックス誌および論文誌(Journal of the Ceramic Society of Japan)表紙写真の候補になります。
- ・応募作品の返送時期は、選外作品は3月末以降、受賞作品は6月末以降を予定しております。

7. 学術写真賞の選考と表彰

- ・選考は「学術写真賞選考委員会」が行います。
- ・応募作品の内、下記の観点から選考した優秀な作品に“日本セラミックス協会学術写真賞”が授与されます。
 - 1) オリジナルな科学的知見を含んでいる学術的価値の高い写真
 - 2) 写真の撮影技術や試料作製技術に優れ、技術的に高度または美的水準が高いと認められる写真
- ・教科書に使用したいような優れた写真については、特別賞の対象となる場合もあります。
- ・入賞作品には、賞状と副賞が贈られます。
- ・表彰式は第93回定時総会(2017年6月2日(金) 東海大学校友会館(予定))にて行います。最優秀賞受賞者を表彰式にご招待します。
- ・選考結果は、セラミックス誌2017年6月号(予定)に掲載され、受賞作品はWEBでも公開されます。

8. お問い合わせ先

公益社団法人日本セラミックス協会 学術写真賞係

メール: syasinsyo@cersj.org Tel: 03-3362-5232 住所: 〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17

URL: http://www.ceramic.or.jp/csj/hyosho/shashin_sho.html

9. 提出物の作成方法・留意点等

応募者連絡票、写真および説明文のフォーマットは下記ホームページからダウンロードしてください。
http://www.ceramic.or.jp/csj/hyosho/shashin_sho.html

① 写真について

A4 サイズ横長で作成し、フォーマットの記入例を参考にして各辺 2cm 以上の余白を残してください。
 展示は印刷した物で行います。印刷に十分に耐えるような解像度 (300dpi 以上) をご使用ください。

* 作品作製のコツ

1. うまく学術性の高さを「語る」作品を作りましょう。一枚の写真で伝わりにくい場合は複数の手法や写真を組み合わせた作品を作るのも手です。
2. 記号の意味をきちんと説明して丁寧な作品を作りましょう。スケールをお忘れなく。
3. モノクロでも良いですが、芸術性を上げるために少しだけ色を付けると審査員の目に留まりやすいかもしれません。

② 説明文について

フォーマットに記載のある通り、下記の体裁にて作成してください。

標題 (24 ポイント, センタリング, “標題” は不要, タイトルだけ)

応募者所属・氏名 (ふりがな) (18 ポイント, 左詰, “応募者所属・氏名:” と記して続ける)

撮影者所属・氏名 (ふりがな) (18 ポイント, 左詰, “撮影者所属・氏名:” と記して続ける)

装置・撮影条件 (18 ポイント, 左詰, “装置・撮影条件:” と記して続ける)

写真の説明 (14~16 ポイント, 左詰, 文頭になにも書かずに直接内容を書く)

学術的意義や技術的意義 (試料作製方法, 撮影方法等について) などを含めて、写真の説明を 800 字程度 (全部で 1 枚以内) で書いてください。

* 説明資料作成のコツ

1. 学術的な意義をわかりやすく書きましょう。難解すぎる専門用語を多用しては意図が伝わりません。
2. 試料作製や撮影の難易度も書くと良いでしょう。
3. 「この作品からどんな未来が切り拓かれるのか」を書いたりするのも良いでしょう。

③ 応募先

上記①と②をフォーマットに沿って A3 タテ一枚にまとめ、PDF に変換してメールにて送信してください。

ファイルサイズは 10MB 程度としてください。送付先 syasinsyo@cersj.org 学術写真賞係

④ 応募作品の印刷について

上記①②を協会でプリントアウトしたものを年会で展示します。印刷などの都合上、応募者の意図する色調が厳密に再現できない場合があります。ご自身での印刷を希望される方は上記デジタルファイルに加えて、展示用写真および説明文をフォーマットにあわせて印刷し下記までご郵送ください。

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 公益社団法人日本セラミックス協会 学術写真賞係

⑤ 補助資料について (任意)

応募作品の理解を助けるための補助資料を 1 点のみ提出を受け付けます。

ただし、大きさは 3 辺の合計が 60cm 以下、重さ 2kg 以下 (ヤマト運輸 60 サイズ) に限ります。

郵送または宅配便等で送付する際は、送付物とともに、応募者の所属、氏名、作品名、返送希望 (返送は着払いとなります) の有無を明記してください。電子媒体の場合は作品と共にメールにてお送りください。

なお、補助資料の提出は必須ではありません。

⑥ 過去の受賞作品

http://www.ceramic.or.jp/ig-nenkai/shashin_sho/index.htm をご覧ください。

右図 第 41 回学術写真賞 (2016 年年会) 最優秀賞

タイトル: ピコメートル変位マップによる BaTiO₃ 薄膜ナノドメイン構造可視化

出品者所属氏名: (JFCC ナノ構造研究所) 小林俊介・加藤丈晴 (JFCC ナノ構造研究所, 東京大学) 幾原雄一 (JFCC ナノ構造研究所, 名古屋大学) 山本剛久

装置・撮影条件: 日本電子社製 JEM-2100F・200 kV

